

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2025年7月1日 262号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

パクー放流式 2025

環境のため、地域のために



皆様のご支援分を含めて、計2000尾のパクーをパラグアイ川に放流しました。2025年6月1日、放流式を終えて。



パクーを放流するチャマココ族の従業員たち。



動画: 支援者の代表がパクーを放流する。

（次面に関連記事と写真）

今回の放流式では、皆様からの
クラウドファンディングによる支
援金を活用し、1尾1000円

の寄付によって放流するパクーの
稚魚を確保しました。日本を中

放流式を無事に開催することができました。この活動はレダプロジェクトの重要な柱として、食糧問題の解決と水産資源の保護を目指し、地域の持続可能な発展に貢献するものです。

LEDAプログラム参加者を道した藤生輝彦さんの報告より
いつも温かいご支援をありがとうございます。おかげさまで、2025年6月1日、パラグアイ・ペルトレダにて淡水魚パクーの放流式を準備し、実際に放流を行いました。

ために生きるを実践・高い教育効果

この取り組みは、皆様の支援が

あってこそ実現できたものです。

生きる」実践は、非常に高い教育効果をもたらし、参加者にも深い気づきを与える機会となりました。

接この活動に関わっていただきた
いという思いから、LEDAプログラ
ムの参加者が支援者を代表し
て放流式を準備し、実際に放流
を行いました。

環境保護と地域社会の

協力が結びつくこの活

動を、今後もさらに発

展させてまいりますので、

引き続き温かいご支援

をよろしくお願ひいたし

ます。改めて、心より感

謝申し上げます。

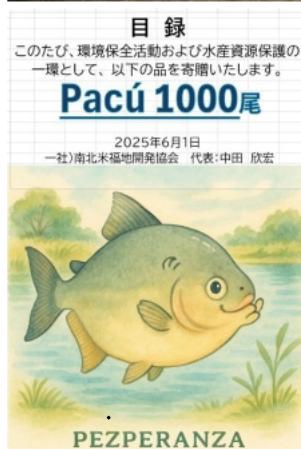
放流式



パクー放流式の開会式で語る岩澤園長(中央)。6月1日午後



放流するパクーを選び出す。6月1日午前



当法人からレダへ、パクー1000尾を寄贈。
支援者代表(右)より滝川さんへ目録を贈る。



放流式の会場とその周辺をきれいに整備しました。

放流式 LEDAプログラム 参加者たちの感想 評価されることを

● Mさん(21・学生) 後世で

● Aさん(21・学生) 地域の先頭に立つて貢献するレダ

● Bさん(25・一般) 多くの人の賛同に大きな価値が

まずは、今回の放流式に参加できることを率直に嬉しく思います。非常に意義のあるイベントだらうこともあります。それ以上に、この式そのものを楽しむことができました。準備はかなりの重労働で、放流するためのパクーを池から引き上げるところからやらなければいけませんでしたが、その準備があつたからこそ、式を無事に執り行えたときの喜びもひとしおでした。

この放流式は、漁獲量が減少しつつあるパクーの個体数増加に直接的に寄与することを目指しながらも、自然との共生を目指すという信念において、象徴的な意味合いも持っているのだと思います。ですから、この活動が今後パラグアイの地で拡大され、ひいては環境保護運動の先駆けとして後世で評価されることを願っています。また、この式を準備していただいた全ての方々に感謝します。ありがとうございました。

● Tさん(20・学生) 命の大切さを実感しました

パクーを捕獲すると、初めはパクー 자체すごく活発で、飛び跳ねたり、網の中で泳ぎ回つ

いた

いた全ての方々に感謝します。ありがとうございました。

● Iさん(25・学生) 自然との共生とは何かを考える

放流式に参加し、現地の方と

ていたのですが、捕獲してから時間が経つにつれて、樽の中でも徐々に弱っていくのを感じました。最初、手で取るのは、暴れてもほとんどできませんが、最後の方では簡単に掴み取りができ、抵抗するパクーも少くなりました。弱つていて、パクーを見て、命の大切さを感じました。普段、食事をする時、食べ物を残したり、食べられることが当たり前ではないということを改めて実感しました。

最後に、放流された時、パクーが生き生きと泳いでいる姿を見てすごいと思いました。

改めて、お父様の言われた自然との共生とは何かを考えさせられる機会でした。

放流式の意味的な部分の重みは理解しきれていない部分もあると思うので申し訳なさ

はあります。だからこそ多くの人が追いかけていました。

放流式の意味的な部分の重みは理解しきれていない部分もあると思うので申し訳なさはあります。だからこそ多くの人が放流事業に対しても賛同してくださつたことに大きな価値を感じます。

放流式に参加し、現地の方と

このような取り組みが大きくなることが何よりも未来に繋がっていると思いますので、明るい未来が訪れる

ことを願っています。■

この広がっていくことが何よりも未来に繋がっていると思いま

すので、明るい未来が訪れる



パサー放流式のドローン撮影画像。6月1日



放流式のバナー



●宮脇方式で、潜在自然植生の苗木を混植・密植しました。5月30日



●植樹用のマウンドを耕します。5月30日



●カナン牧場で昼食をいただき、乗馬体験などをしました。6月2日



●カナン牧場を訪問し、放牧の様子を見学しました。6月2日



●世界自然遺産イグアスの滝を観光しました。6月9日



●プエルト・グアラニ:19回奉仕隊が描いた壁画の前で。6月3日



●広大なイグアスの滝のほんの一部です。



●崩落した路肩がしっかり修復されました。



5月23日

LEDA-SNAP

